



茨城ワイズメンズクラブ
2018年度~2019年度
10月報 Vor. 122
強調月間テーマ

EMC-E・YES

10月例会プログラム

と き : 2018年10月12日(金)
19:00~21:00
と ころ : YMCA会館新館3階

司会 土谷 明男

開会挨拶と点鐘 会長 土谷 明男
ワイズソング
ワイズ信条

- 1 自分を愛するように
隣人(りんじん)を愛そう
- 1 青少年のために YMCAに尽くそう
- 1 世界的視野をもって
国際親善をはかろう
- 1 義務を果たしてこそ
権利が生ずることをさとうろ
- 1 会合には出席第一
社会には奉仕第一を旨としよう

今月の聖句・食前感謝

卓話 モンゴルのいま
スピーカー: ノミンさん
(モンゴルナラン学校日本事務局スタッフ)

ハッピーバースデー&
おめでとう結婚記念日
スマイル
報告と協議

茨城YMCA報告 大澤 篤人

閉会挨拶と点鐘 会長 土谷 明男

◆ワイズの目的は『YMCAの活動を支援する』
となっております。その1つとしてYMCA維持
会員になっていただいております。まだ維持
会員登録をされていない方は、大澤までお
申し出下さい。YMCAは会員団体であり、YMCA
は会員に支えられ地域に根ざした活動を展開
しております。維持会員とは、YMCAの使命に
賛同し、その運動に主体的に参加し、YMCAの
維持、発展に寄与することを願う会員です。

THE Y'S MEN'S CLUB OF IBARAKI

CHARTERED 2006



国際会長主題 : 私たちは変えられる

アジア地域会長主題: Action

東日本区理事主題 : 為せば、成る

関東東部部長方針: 良いものを見つけ・つなげて・よくなる

茨城ワイズ会長主題: 「ワイズはYMCAの「お兄ちゃん」へ！」

★巻頭言★

遠くモンゴルにまで繋がった不可思議なみ恵み

宮田 康男

2014年に茨城YMCAは新本館を購入することができ、大通りに面することになった。保育クラスの卒園児のお母さん・草野さんがそこを通りかかり、日本語クラスをボランティアで開いてくださることとなった。

この日本語クラスにモンゴル人のクリスチャン女性、ノミンさんが入学してきた。親しくなるにつれ、モンゴルで、外国語として日本語を教えている私立学校「ナラン学校」の存在を知った。学校は創立15年の若い学校。日本語を教える特徴が人気を呼び、急成長していて、成績の良い生徒を日本の研修旅行に送り出したいというのだ。その支援要請を受けた。

5月にスタッフの藤井さんがナラン学校とモンゴルYMCAを訪問し、6月には8人の小学5年生と校長が来日。午前中は日本語教室、午後は宇宙センターや大洗水族館、東京のお台場などに出かけ、夜は、YMCAの会員宅にホームステイをした。

大成功の研修旅行は、子どもたちの帰国後の報告で一層爆発的な人気となり、日本語熱も高まり、つくばに行きたい生徒は急増しているという。11月ならびに来年5月にはより多くの生徒が来る予定で、受け入れの準備を進めている。

私は、設立5年の若いモンゴルYMCAと、このナラン学校を結び付けたいと願い、8月に出かけて行った。モンゴルYMCAの運営を持続可能な軌道に乗せるため、学校内に学童保育を作り、その部分をモンゴルYMCAの業務委託にすることを両者に促した。あまりにも差し出がましい作戦ではあるが、両者は納得し、ほぼ目的は達成できたと思っている。

ナラン学校の生徒の引率で、モンゴルYMCAの若手のスタッフ、アンドリューが初来日の予定となった。今後、児童クラブの運営スキルの移転のため両国のYMCAのスタッフの往来が始まることを楽しみにしている。

小さな日本語クラスから始まり、不思議なみ恵みを与えられた。将来、モンゴルの青年たちが茨城YMCAに集い、筑波大学に通うようになる姿を想像して、喜んでいる。

今月の聖句

それで、何事でも、自分にしてもらいたいことは、ほかの人にもそのようにしなさい。これが律法であり予言者です。

マタイの福音書 7章12節

【茨城ワイズ 9月例会報告】

9月例会は、9月14日に茨城YMCA会館にて実施いたしました。卓話では、昨年より茨城YMCAスタッフに加わった藤井さん(ネス君)より、「みらいへグール」プロジェクトのお話をいただきました。

巻頭言でも宮田総主事が述べておられますが、「みらいへグール」プロジェクトは、茨城YMCAの既存の事業での出会いから生まれました。「グール」とはモンゴル語で「橋」を意味しており、日本とモンゴルとの懸け橋になる、また子どもたちの未来の可能性への橋を架けたい、という願いをこめて、「みらいへグール」と名付けられました。

YMCAのスローガンに照らしますと、日モンゴル双方のお友だちにとって自らの新しい可能性が「みつきり」、文化の異なる人々と「つながり」、未来にむけて「よくなっていく」ことを期待して、プログラムは取り組まれています。

<写真>

8月に宮田総主事がモンゴル訪問時モンゴルYMCAスタッフならびにナラン学校校長と



卓話では、スライドを交えながら、モンゴルの暮らし、出会いのきっかけとなったナラン学校の様子、またモンゴルYMCAの現況などの説明を受けました。モンゴルに関する質疑応答をはさみ、ナラン学校の生徒が日本に訪れた模様についての説明を受けました。

<写真>

チンギス・ハーン像
モンゴルYMCA近影



以下来日時のスケジュールを簡単に記します。

- 1日目：成田空港に到着、つくばへ移動
- 2日目：YMCA会館にて日本語クラス、エキスポセンターならびにJAXA施設見学
- 3日目：大洗海水浴場、アクアワールド大洗水族館見学
- 4日目：YMCA会館にて日本語クラス、つくば市内小学校ならびにYMCAが運営受託する児童館での交流(踊りの披

露や料理体験)

5日目：お台場ジョイポリス見学

6日目：ホームステイ先での自由行動、ありがとうパーティー

7日目：帰国

途中ホームシックにかかる子もおられました。モンゴルでは体験できない「海」「電車(つくばエクスプレス&ゆりかもめ)」「アミューズメント施設」などといった経験、さらに、ホームステイを通じてモンゴルの子どもたちも、受け入れ家庭も、得難い経験ができたとのことでした。

今回のプロジェクトを通して、既に日モンゴルの双方で変化が起こり始めています。モンゴルに行きたい、という日本のお友だちの声も、送りたい、という保護者の声もたくさん聞こえてきています(早くも、8月の宮田総主事訪問の折には、6月のプロジェクトで受け入れたご家庭から小学6年生の男の子が訪問を果たし、受け入れたモンゴルのお友だちの家に逆にホームステイさせてもらう、ということがありました)。離れてからも、Facebookやメールでのやり取りを続けているご家庭もあります。この架け橋をこれからも大切にしていきたいと望んでやまないところです。

今回のプロジェクトはまだ出発点に過ぎず、今後さらに第二弾、第三弾の受け入れが予定されております。またYMCAのみならず、ワイズメンズクラブにおいても、来日した子どもたちに日本でしかできない体験(釣りなど)を味わってもらおうべく、企画検討を進めております。

また、この10月のアジアYMCA大会はモンゴルにて開催されます。このタイミングで、茨城YMCAがこのような縁を持たれたことに感謝したいと思います。

「兄弟愛をいつも持っていなさい。旅人をもてなすことを忘れてはいけません。こうして、ある人々は御使いたちを、それとは知らずにもてなしました。

へブル13章 1節-2節」

卓話に引き続いて、片山ワイズより、実行副委員長ならびに広報委員長に就任されているアジア太平洋地域大会(2019年7月19日-21日まで仙台にて開催)のご案内がありました。PR動画をワイズメンバーにて鑑賞いたしました(各部会などにおかれましても既にご案内済み、もしくはこれからご案内させていただきます)。

また、今回の食事は、YMCA幼保園ならびにオリーブ保育園の給食調理、学童保育のおやつ準備を担っていただいておりますスタッフの稲川さんに特別にご用意いただきました。カレーのほかに、肉まんやたこ焼きも揃った豪華なものとなりました。肉まんやたこ焼きは、今後チャリティバザーなどのイベントでのワイズとしての出店を計画しております。

<写真：例会食事>



9月例会報告

出席者 会員5名 メネット 0名
 スタッフ 1名 リーダー 0名
 ゲスト 1名 出席総数 7名
 在籍者会員数 13名 会員出席率 38%

【茨城ワイズ 会計報告】

熊谷ワイズが今期より会計に就任し、以前のものも含め会計業務の刷新に取り組んでおられます。最終確定はもう少し先となりますが、新年度以降の現時点での収支を以下の通りに報告いたします。

7・8月会計報告

前期末からの繰り越し 115,996
 7月例会昼食費 (YMCA スタッフ・講師分) 15,000
 7月例会昼食費支払 (エスポワール) ▲24,000
 まつりつくば出店費用 ▲3,000
 東日本区 2018 年度会費 ▲107,100
 関東東部 2018 年度会費 ▲75,250
 振込手数料 ▲432
 ワイズ会費 83,000

8月末時点残高 10,214

一部のワイズメンバーからは、会費の前納にご協力いただきましてありがとうございます。みなさま、できる限り半期ごとの会費前納にご協力くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

9月には、まつりつくば収入からのワイズへの分配、10月にはチャリティバザー収入が予定されておりますが、あわせてチャリティーランへの協賛金支払いを見込んでおります。

茨城 YMCA 報告 大澤 篤人**9月の予定**

- 2日 高学年デイキャンプクラブ トムソーヤ
- 3日 早天祈祷会
- 3日 主任会
- 5日 職員礼拝・職員会
- 8日 東新井・牛久児童クラブ総会
- 9日 みどりの児童クラブ総会
- 9日 未就学児デイキャンプクラブ わんぱくクラブ
- 11日- 児童クラブ支援員研修 (他 13日、20日、26日)
- 14日 みんなの食堂
- 15日 夏キャンプ思い出会
- 18日 藤井ステップⅡ研修開始
- 18日 牛久センター運営委員会
- 22-23日 ファミリーキャンプ
- 29日 障がい児・者自立支援活動 たんぽぽクラブ
- 29日 中高生デイキャンプクラブ ユースクラブ
- 29日 ワイズ関東東部部会

10月の予定

- 1日 早天祈祷会
- 3日 職員礼拝・職員会
- 4日 熱海 YMCA 訪問
- 6日 YMCA 幼保園・オリーブ保育園運動会
- 9-11日 東日本総主事会議

- 12-15日 モンゴル YMCA 協力委員会
- 13-14日 わいっこつくこんこ合同 ONC
- 20日 筑波学園教会共催バザー
- 22-24日 総務担当者会
- 25-27日 保育部会専門研修
- 27日 インターナショナルチャリティーラン

【編集後記】

このところにわかにつくば方面への出張回数が増え、ワイズの方々とお会いする機会も増えていきます (注: 書記村田は神奈川県川崎市に居を構えております)。ワイズに参画させていただき4年目になりますが、ようやく自分のペースがつかめてきたと感じております。食べものの話ばかりしている不肖者ですがこれからはもなにとぞよろしくお願いたします。

子どもが大きくなってきたのはじめてハイキングに行ってみました。写真左: 下山後小田原漁港にて、かき氷 (氷にシロップをかけた代物ではなく、凍らせた果物をスライスした珍しいものです。写真右: 同じく漁港での定食、小田原港は、相模灘で獲れる、全身大トロというふれこみの「アブラボウズ」が人気なのですが、この日はあいにく水揚げされておりませんでした。お近くに寄られた際はぜひお試しください。



沖縄出張も最近増えております。地元の方限定、会員制の泡盛のお店に幸いにも連れていってもらいました。日本はお酒の多様性においては世界でも群を抜くことを改めて実感。また9月の沖縄は安室ちゃん一色でした。街の至る所にポスターが貼られ、地元の方々の愛情を感じました。



関西地方を襲った台風、北海道地方で起こった地震など、天災が続いています。犠牲となられた方々のご冥福をお祈りいたします。また、1日も早い復興が進むことを心より願っております。

<写真>例会の様